

令和3年度（2021年度）
大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト面接（模擬授業）
実施案内

1. 実施方法

出願した「校種・教科等」において、次の表中に示す「模擬授業の内容」を扱った授業を構想し、その授業の一部を模擬授業として行ってください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、マウスシールドを着用して模擬授業を行ってください。なお、マウスシールドは大阪府豊能地区人事協議会で用意したものを当日配付いたします。

2. 模擬授業について

- (1) 模擬授業の時間は入室から授業終了までの5分間です。模擬授業は「模擬授業の内容」に即して、事前に準備した上で行ってください。
- (2) 面接室にはホワイトボード、マーカー（黒・赤・青 各1本）が用意してあります。
- (3) 模擬授業は必ずしも授業の“導入”部分から行う必要はありません。途中の“展開”部分や“まとめ”部分から授業を始めていただいて構いません。
⇒ 模擬授業は時間内に授業をまとめる必要はなく、授業内容の途中で終わっても構いません。
⇒ 「模擬授業の内容」と直接関係のない“導入”部分は不要です。
- (4) 模擬授業の進行上、図や長文などホワイトボードに書くにあたって時間を要するものに関しては、ホワイトボードに書いてあるものと想定して授業を行っても構いません。
- (5) 面接員を児童生徒と想定して授業を行ってください。ただし、面接員は発言等を行ったり、反応したりしません。
- (6) 模擬授業に持ち込み可能なものは※模擬授業メモ（1枚）のみです。
⇒ 授業を行うにあたっては、模擬授業メモを見ながら授業を行っても構いません。
- (7) 模擬授業の終了後、引き続き同じ面接室で個人面接（15分間）を行います。
⇒ 個人面接において、模擬授業に関する質問がされる場合があります。
- (8) 模擬授業の内容の表内に示されているページは、文部科学省により発行されている学習指導要領（小学校・中学校）[平成29年3月告示]のページ数を表しています。WEB ページ上のもではありませんので注意してください。
- (9) 模擬授業に関するご質問については、一切お受けいたしません。この実施案内をしっかりと読んで模擬授業に備えてください。

※模擬授業メモ（A4サイズの内紙に限る）

- ・授業案、板書や授業用のメモなど模擬授業に必要な内容を自由にお書きください。
また、本や教材などをコピーしたものでも構いません。両面を使用することも可能です。
- ・このメモは、模擬授業中に見る以外の使用は一切しないでください。
⇒ 他の物品については一切持ち込むことはできませんので、ご注意ください。
⇒ 模擬授業メモは評価の対象とはしません。提出は不要です。

校種・教科等	模擬授業の内容
小学校	<p>《小学校学習指導要領 P.95～P.96 理科〔第3学年〕2 内容》</p> <p>B 生命・地球</p> <p>(2) 太陽と地面の様子</p> <p>太陽と地面の様子との関係について、日なたと日陰の様子に着目して、それらを比較しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 日陰は太陽の光を遮るとでき、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わること。</p>
中学校・国語	<p>《中学校学習指導要領 P.31 国語〔第1学年〕2 内容》</p> <p>B 書くこと</p> <p>(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>ウ 根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。</p> <p>エ 読み手の立場に立って、表現や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。</p> <p>(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。</p> <p>イ 行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く活動。</p>
中学校・社会	<p>《中学校学習指導要領 P.58 社会〔公民的分野〕2 内容》</p> <p>B 私たちと経済</p> <p>(1) 市場の働きと経済</p> <p>ア 次のような知識を身に付けること。</p> <p>(イ) 市場経済の基本的な考え方について理解すること。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解すること。</p>
中学校・数学	<p>《中学校学習指導要領 P.67 数学〔第1学年〕2 内容》</p> <p>B 図形</p> <p>(2) 空間図形について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 空間における直線や平面の位置関係を知ること。</p>
中学校・理科	<p>《中学校学習指導要領 P.83～P.84 理科〔第1分野〕2 内容》</p> <p>(6) 化学変化とイオン</p> <p>化学変化についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けること</p>

	<p>ができるよう指導する。</p> <p>ア 化学変化をイオンのモデルと関連付けながら，次のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けること。</p> <p>(ア)水溶液とイオン</p> <p>㊦ 中和と塩</p> <p>中和反応の実験を行い，酸とアルカリを混ぜると水と塩が生成することを理解すること。</p>
中学校・音楽	<p>《中学校学習指導要領 P.99～P.101 音楽〔第1学年〕2 内容》</p> <p>A 表現</p> <p>(3) 創作の活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，創作表現を創意工夫すること。</p> <p>[共通事項]</p> <p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。</p>
中学校・美術	<p>《中学校学習指導要領 P.108 美術〔第1学年〕2 内容》</p> <p>B 鑑賞</p> <p>(1) 鑑賞の活動を通して，次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。</p> <p>イ 生活の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を広げる活動を通して，鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 身の回りにある自然物や人工物の形や色彩，材料などの造形的な美しさなどを感じ取り，生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして，見方や感じ方を広げること。</p>
中学校・保健体育	<p>《中学校学習指導要領 P.127 保健体育〔保健分野〕2 内容》</p> <p>(2) 心身の機能の発達と心の健康について，課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに，ストレスへの対処をすること。</p> <p>(ウ) 知的機能，情意機能，社会性などの精神機能は，生活経験などの影響を受けて発達すること。また，思春期においては，自己の認識が深まり，自己形成がなされること。</p>
中学校・技術	<p>《中学校学習指導要領 P.134 技術・家庭〔技術分野〕2 内容》</p> <p>D 情報の技術</p> <p>(2) 生活や社会における問題を，ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって解決する活動を通して，次の事項を身に付</p>

	<p>けることができるよう指導する。</p> <p>ア 情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができること。</p>
中学校・家庭	<p>《中学校学習指導要領 P.137～P.139 技術・家庭〔家庭分野〕2 内容》</p> <p>》</p> <p>B 衣食住の生活</p> <p>次の(1)から(7)までの項目について、課題をもって、健康・快適・安全で豊かな食生活、衣生活、住生活に向けて考え、工夫する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(6) 住居の機能と安全な住まい方</p> <p>ア 次のような知識を身に付けること。</p> <p>(イ) 家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解すること。</p>
中学校・英語	<p>《中学校学習指導要領 P.144～P.151 外国語 英語 1 目標》</p> <p>(3) 話すこと〔やり取り〕</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。</p> <p>3 指導計画の作成と内容の取扱い</p> <p>(1) 指導計画の作成に当たっては、小学校や高等学校における指導との接続に留意しながら、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>エ 生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とする。その際、生徒の理解の程度に応じた英語を用いるようにすること。</p> <p>オ 言語活動で扱う題材は、生徒の興味・関心に合ったものとし、国語科や理科、音楽科など、他の教科等で学習したことを活用したり、学校行事で扱う内容と関連付けたりするなどの工夫をすること。</p>